



## 2025JR総連春闘・夏季手当メッセージ【追加】

組合員⑩  
未加入者の声！

### 【生活実感】

- ・金利上昇に伴い住宅ローンの支払いがアップ。不安でしかない。
- ・物価上昇によりステルス値上げがあり買い物等控え気味になる。
- ・物価上昇に賃金が追いついていないため生活が苦しい。
- ・物価の上昇が賃金の上昇の上を行って辛い。
- ・食品の値上げが続きすぎて、何が適正な値段なのかすらもわからない。
- ・賃金の伸びが生活に追いつかない。
- ・住宅ローンの金利上昇だけでも生活が厳しいだけでなく、物価上昇が追い打ちをかけている。

### 【労働実感】

- ・組織再編で組持ち手当が廃止。同じ仕事しているのに。
- ・普段と変わらない。
- ・グループ会社の要員が足りない。来年度の工事量減のため要員補充がなく、計画性のない残業ですませている。そのためミスが発生しやすい。・人員不足が目立つようになってきている。
- ・一人の責任が重く、現場長、管理者も職場全体を見渡しきれないように感じています。・業務負担の増加。
- ・組織再編による業務負担が大きい。だか賃金には反映されない。

### 【物価上昇に対して生活の現状について】

- ・ジュース一本買うのも躊躇してしまう。・外食、買い物を控える。
- ・以前の2割増感。一回の食材買いで2000~3000円アップ。他のものを購入する意欲が起きない。
- ・買い物に行くにも厳選してものを選ぶようになった。・気兼ねなく買い物ができるように一日も早くなってほしい。
- ・可処分所得の減少、生活のゆとりが奪われている。
- ・物価上昇で日々の生活、食料品等の買い出しも気を遣ってしまう。

### 【この間会社回答に対する納得感や職場の奮闘にこたえているかについて】

- ・さすがに期末手当2.9カ月には幻滅した。・できる範囲で行っていると思う。
- ・ただいくらでもよせとは言わないが納得感はない。・応えきれていない。
- ・会社は一定の納得の声があるというが、果たして誰が言っているのか。・現場の努力の成果が適正に還元されていない。・施策に対して真摯に向き合っている中、賃金やボーナスに会社からの想いが全く伝わってこない。

### 【会社施策に対しての奮闘について】

- ・次から次へと休む暇もなく頑張っている。
- ・部外委託ばかり進めるがJRの責任放棄にしかみえない。エルダーとして気になるところは発言しているがグループ会社はJRにもものをいう姿勢が足りない。
- ・社員は自分の仕事を全うするため精一杯やっているといます。それが業績や会社の数字に表れているはず。
- ・改革や効率化→現場に過度な負担→働き甲斐を高める施策が現場にとってプラスになっているか。

### 【人材流出、人材確保について】

- ・新入社員だけではなく中堅も大事にしてほしい。
- ・今のやり方には疑問がある。
- ・若手の退職が後をたたない現状は異常なことだと思う。この状態が何年も続いている。しっかり会社は危機感を持ってほしい。
- ・賃金、労働環境が市場水準に見合っていなければ人材の定着や新規採用は難しい。
- ・他の大手企業から比べて賃金が低く、会社の社員は応える気持ちもない。離職率が上がるのは当然。

### 【その他】

- ・エルダー賃金の引き上げ
- ・生活の維持向上のため、職場から周囲を巻き込んで戦いをつくり出していく。・会社の安全第一が現場に響かない。
- ・金利が上がり、不安定なのは会社だけではなく住宅ローン等の支払いがある社員も一緒である。
- ・要員が少なくなる中、これまで以上に業務に一生懸命取り組んできた。コロナ禍前には戻らないと言ってきたお客様も18年比100%を越えてきたのは組合員の努力があってこそである。・満額回答で組合員、社員の働くモチベーションを上げるべきである。・もうJR東日本が働きたい会社として選ばれる会社ではない。離職が進まないよう会社が努力する最大の取り組みのひとつが今春闘である。・みんなの意思を一つにし、生活の悪化をくい止めよう！